



**アニメで知ろう！難聴講座で、
難聴の生徒さんが、
もっと友達との会話を楽しみ、
もっと勉強に取り組みやすくなります**
～ご利用は無料です（交通費実費のみご負担）～

**難聴児が言う「聞こえてる、大丈夫」は、
実際あまり聞こえていないことが多いこと
をご存知ですか？**

難聴児は、先天性なら（近い場合も含めて）、
生まれたときからずっと聞こえない状態です。
聞き漏らしがあり、あまり聞こえないことが“普通”の
状態なのです。つまり、「本人の大丈夫」は、
「あまり聞こえていない状態」が、ほとんどなのです。

そして、聞き漏らしがないように、ものすごく神経を
使って聞き取りをしています。

聞くだけで、グッタリしてしまうほどですが、聞いた
後、それから勉強について考えるので、本当に疲れて
しまう上、どうしても聞き漏らしは出てまいりますし、
頭を働かせるのも一苦勞です。

しかし！



と、
ちょっとした



さえあれば、今よりも言葉の読みとりがしやすくなり、
友達との会話をより楽に楽しんだり、授業での情報把
握がもっと楽に、確実にできるようになるのです。

私たちは、難聴の正しい知識を広め、難聴児がより過
ごしやすくなり、お互いが会話をしやすくなるための
コツを伝える難聴啓発の出前講座を始めました。

交通費実費のみで実施できます。
ぜひ、この講座を、難聴児のクラスで実施しませんか？

講座内容

【生徒向けプログラム例】

- 難聴についてのイメージ確認
- 難聴がわかるアニメ「なんちようなんなん」視聴
- 動画をもとにポイント解説
- 誰もが読み取りやすい伝え方(クイズゲーム)
 - ・言葉で説明編
 - ・ジェスチャーで説明編
 - ・表情で説明編 など
- 学べて良かったことの振り返り

【講座を受けての感想抜粋】

- ・思ったことを身振り手振りで伝えたいです。
- ・今までは〇〇さんと普通にしゃべっていたけど、それが小さく聞こえているのがわかったので、これからは身振り手振りをしながら話したいです。
- ・今日、習ったので、〇〇さんと話をしたいです。
- ・言葉に説明をつけるとわかりやすいんだと思いました。



※対象学年に合わせて、お打合せの上、アレンジします。

※生徒向けは、基本、授業の1コマで実施します。

（全校向けはお打合せの上調整します）

※クラス単位、全校生徒、学年全体、オンラインなど、
ご要望に合わせて実施できます。

※難聴の生徒さんがいなくても、人権講座として実施
できます。

※幼保園は、このベースを基に、お打合せの上、
対象年齢に合わせて内容をアレンジします。

時間も、短く実施できるようにします。

※先生向けの講座も、1時間程度で実施可能です。

▶まずはお気軽にご連絡を！

y-iwao@kotoba-bridge.org

まずは岩尾までお気軽にメールしていただき、
ご質問や詳細をご確認ください。



難聴がわかるアニメ「なんちょうなんなん」



こちらからぜひ、
ご視聴ください！



当法人代表理事の岩尾が会長を務める
難聴の子を持つ家族会そらいろが、
クラウドファンディングで制作した
難聴がわかるアニメです。(約3分)

なぜ、無料で利用できるのか？

学校の生徒向け講座は、多くの学校で受けていただきたいので、交通費実費のみで行っています。そのため、収益事業に加えて、個人からのサポーター会費、企業とのスポンサー費をいただき運営しています。難聴への理解を拡げていきたいと思っていますので、お心当たりの方がいらっしゃいましたら、このアニメで知ろう！難聴講座を、ぜひ、ご紹介いただければ嬉しいです。

本ご紹介のPDFダウンロードURL
<https://cutt.ly/dO6Yl2l>



講師プロフィール



岩尾 至和(いわお ゆきかず)

一般社団法人言葉のかけはし 代表理事
難聴の子を持つ家族会そらいろ 会長
2014年生まれの難聴の娘を持つ父親

18年間人材開発に携わり、若年者のキャリア支援、企業研修のプログラム開発、講師、営業などを手掛ける。
現在は、難聴の啓発活動に専念し、難聴理解講座、難聴者のキャリア支援、難聴者が働く企業での環境整備のサポートなどを行っている。



小2難聴ガールと
年中難聴ボーイの日常
を発信しています。



なんちょうなんなん制作
の舞台裏や、難聴児を
持つ家族向けの情報を
発信しています

～推薦の言葉～



岩尾さんは、難聴の子どもたちの未来について、誰よりも真剣に考え、積極的に行動を起こし、叶えたい夢は決してあきらめない、とても意志の強い方です。

私はその岩尾さんの子を想う親の優しさと強さに触れ、心を動かされた者の一人です。岩尾さんとの出会いをきっかけに、平成30年9月福岡県議会の会派代表質問において、特別支援学校の幼稚部における放課後の受け入れ態勢の強化や、遊びを通じた実践的な療育の重要性等を訴え、行政の支援を強く求めました。

今後、「わかりづらい障がい」と言われる「聴覚障がい」への理解が深まり、障がいの有無に関係なく、全ての子ども達の未来が明るいものとなることを信じています。ぜひお一人でも多くの方にご賛同いただけますよう、私からもお願い申し上げます。

国民民主党 福岡県参議院
選挙区第1総支部 代表

大田 京子氏

一般社団法人言葉のかけはし

〒812-0895
福岡市博多区竹下2-1-56-601
担当:岩尾

◎お問合せは、岩尾までお気軽にご連絡ください
y-iwao@kotoba-bridge.org

